

会議状況等報告書							報告者	森川 陽子			
会議の名称		令和5年度第1回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会									
日時		令和5年6月12日(月) 午後1時30分～午後3時45分					場所	おおぶ文化交流の杜図書館 会議室2・3			
出席者	委員	加古有子	松岡礼子	岡田知之	竹内紀人	鈴木善博	平塚友美	赤堀路世	神田由美		
		○	○	○	○	○	○	○	○		
	事務局	近藤部長	田中課長	永露係長	小野主事	森川主事	村上図書館長	小倉マネージャー	上野顧問		
欠席		○	欠席	○	○	○	○	○			
傍聴者 0名											
内容											
<p>1. 委員・事務局自己紹介 席順に委員・事務局自己紹介 新規委員：竹内紀人委員、平塚友美委員</p> <p>2. 施設概要・館内案内</p> <p>3. 議題 (1) 令和3年度第4四半期事業実施報告について ※資料1～5に基づき事務局説明</p> <p>(2) 令和4年度事業計画について ※資料6に基づき事務局説明</p> <p>【意見交換】 (委員)「おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会設置要綱」では、第2条(1)において「図書館運営に係る計画に関すること」を広く意見を聞き協議するとある。図書館運営委員会でも計画について議題にあげるべきだと考える。また、図書館は今年6月に10周年を迎えるが、今までの図書館運営データをどう評価し、どのような課題があると考えているか。 (館長)大府市との指定管理は15年契約で、今は6～10年の2期目である。今は中間計画にのっとって運営しており、まもなく次の5年計画を市と打ち合わせて決めていく予定である。また、評価については別の会議で市に報告をしている。 (委員)図書館運営委員の位置づけとして、この会でも計画の進捗管理を報告し、計画の策定時に委員から意見をもらうべきではないか。 (課長)確かに、計画の時点で意見をもらって議論すべきとも思う。意見をもらえるような場を作りたいと思う。</p>											

- (委員) 館長の報告を聞くだけの会ではもったいない。どうやって目標を定めて達成するか話し合う場になってほしい。
- (委員) 「期間中に発生した事故・ご意見」の中で、複写のルールを教えてほしい。また、コピーの単価が100円と高い気がするが、これは著作権料か。
- (館長) 図書館のコピー機は図書館の資料しかコピーできないことや、著作権のため地図は半分しかコピーできないなどルールがある。コピーには申込用紙を記入する必要がある。費用の金額については条例で決まっており、著作権料としてではなく複写代として料金を徴収している。
- (委員) 知人から外国の書籍を寄贈したいという相談を受けたが可能か。
- (館長) 寄贈についてはスペースにも限りがあるため、本館にふさわしい図書か検討させていただく。古いものは難しいかもしれない。
- (委員) 他市町の図書館も見た事があるが、大府市は清潔感や空間の広さなど素晴らしいと感じた。「大府市読書活動推進計画」では、高校生の不読率40%を目指すところがあるが、目標どおりのペースで達成しているのかを教えてください。
- (課長) 「大府市読書活動推進計画」は、図書館だけが担うものではない。例えば、保健センターや学校など総合して目指すものになっている。図書館がすべてではないため、直接数字とつながらないところもある。
- (委員) 6ページ「資料2」を見るとブックスタートやシリーズ本の貸出冊数が多い。特集の場所を用意すると、目につきやすいので回転率が高くなると考えられる。特集コーナーやおすすめコーナーを活用することで貸出数を伸ばすことができると思う。また、数か月前1階で人形劇に使用した人形を展示していたが、すごく作り込んであると感じた。人形が年1、2回しか使われないのはもったいないと思う。保育園や小学校などで人形劇を行ったら喜ばれると思う。スタッフの人数も必要になると思うが、1年に1校などぜひ人形を活用してほしい。
- (館長) 人形劇には7、8人の職員が必要となる。館内で開催することはできるが、出張する際には職員のやりくりをどうしていくか検討する必要がある。
- (委員) 閉館日や蔵書点検の日に行うのはどうか。
- (館長) 検討する。
- (委員) 回転率の低い蔵書で、いい本なのに処分されてしまうのはもったいないと思う。特集を組むなどして埋もれてしまわないようにしてほしい。
- (委員) 小学校でも特集を組むと読む子もいるので、「館長のおすすめ」など、注目されるようにしてほしい。
- (委員) 11ページ「資料3」の説明の中で、市民1人あたりの平均貸出冊数は5.7冊、同じく市外の平均貸出冊数は7.4冊と報告があった。理由として、市外の人がこの図書館(図書)に魅力を感じていると説明されたが、市民の貸出数をもっと伸ばす努力をするべきである。貸出状況の分析を行い、より市民に利用してもらえるような図書館を目指すことが課題であると考えます。例えば、11ページ「資料3」を見ると、立地的な条件で終山町の1人あたりの平均貸出冊数が多いのは分かるが、高丘町の平均貸出冊数も多い。全市内から図書館に来てもらえるヒントが高丘町にはあると感じたので、分析を続けてほしい。
- (委員) 10ページの年齢別貸出冊数を見ると、16～18歳のティーンズが少ないこと

が分かる。10代（中高生）が興味のある本もないと足が遠のくと思われる。
（委員）「大学生が選ぶ直木賞」や高校とのコラボ、中高生ができるボランティアスタッフの募集など、図書館に親しみがわく仕組みづくりをする必要があると考えられる。

4. その他

（委員）7月10日～21日、至学館大学で「世界の子どもの本展」を開催する。外国語の原文が多いが、日本語訳があるものも用意しているのでぜひ足を運んでもらいたい。

【次回開催連絡】

第2回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会

日程：令和5年10月3日（火）午後1時00分から

場所：江南市立図書館

以上